

トンネル工学研究発表会

優秀講演賞，優秀講演奨励賞審査要領

平成19年10月27日制定
平成28年 9月28日改訂
平成29年10月 4日改訂
令和 4年 9月30日改訂

土木学会トンネル工学委員会
土木学会論文集特集号（トンネル工学）編集小委員会

1. 審査員

各セッションの審査員は，2名とし，当該セッションの司会者，副司会者，または会場から審査員を選任する。

2. 採点方法

審査員は，対象者の講演を「土木学会 トンネル工学委員会 トンネル工学研究発表会 優秀講演賞採点表」（様式1）に基づき採点する。なお，プログラムに記載された講演予定者から変更になった場合は代理講演とし，採点対象者とはならない。

3. 採点項目

以下の項目を各5点満点とし，絶対評価（相対評価ではない）の合計点で評価する。

①理解を促す工夫がみられるか

- 5点 （優）a) 対面発表の場合：聴衆の反応を見つつ、表現方法が工夫され、主張がよく伝わる
b) Web 発表の場合：随所に要点を強調するような表現方法の工夫が見られ、主張がよく伝わる
- 3点 （良）表現方法が工夫され、主張がよく伝わる
- 1点 （可）資料の棒読みではなく、表現方法を工夫している
- 上記に該当しない場合は加点しない

②わかりやすい口調か

- 5点 （優）a) 対面発表の場合：口調，声の大きさ，メリハリ，速度が適切で極めて聞きやすい
b) Web 発表の場合：口調，説明の区切り，メリハリ，速度が適切で極めて聞きやすい
- 3点 （良）フィラー（あー，えー）が少なく，工夫もあり聞きやすい
- 1点 （可）適度に聞きやすい
- 上記に該当しない場合は加点しない

③プレゼンの図表は見やすいか

- 5点 （優）随所に工夫がなされており極めて見やすい
- 3点 （良）a) 対面発表の場合：図表が十分見えるよう配慮されている
b) Web 発表の場合：図表の内容が容易に理解できるように工夫されている
- 1点 （可）a) 対面発表の場合：図表は問題なく見える
b) Web 発表の場合：図表の内容は問題なく理解できる
- 上記に該当しない場合は加点しない

④プレゼンの文字は見やすいか

a) 対面発表の場合：

- 5点 (優) 文字の大きさ、量とも適切で極めて見やすい
 - 3点 (良) 文字の大きさにメリハリがあり工夫されている
 - 1点 (可) 文字は問題なく見える
- 上記に該当しない場合は加点しない

b) web 発表の場合：

- 5点 (優) 文字の大きさ、文字の色、字体等にメリハリがあり、極めて見やすい
 - 3点 (良) 文字の大きさ、文字の色、字体等が工夫されている
 - 1点 (可) 文字量は適切に調整されている
- 上記に該当しない場合は加点しない

⑤講演時間を守ることができたか

- | | | |
|----|-------------|---------|
| 5点 | +15 秒以内 | -30 秒以内 |
| 4点 | +30 秒以内 | -1 分以内 |
| 3点 | +1 分以内 | -2 分以内 |
| 2点 | +1 分 30 秒以内 | -3 分以内 |
| 1点 | +2 分以内 | -4 分以内 |

⑥質問に対し、的確に答えているか

- 5点 (優) 質問の意図を理解し、的確にわかりやすい説明をしている
 - 3点 (良) 質問者とコミュニケーションを図ろうという努力が顕著に伺える
 - 1点 (可) 質問に対して一通りの回答ができています
- 上記に該当しない場合は加点しない

4. 授賞候補者決定

編集小委員会運営部会は、審査員の採点結果を集計する。その中から、合計得点の上位約10%の者を優秀講演賞授賞候補者として選出する。なお、ボーダーラインでは、合計得点と同じであった場合、年齢の若い順番に授賞候補者を選出する。その後、優秀講演賞授賞候補を除いた30歳以下（講演時点）の講演者を対象に、同様に優秀講演奨励賞授賞候補者を選出する。

編集小委員会は、運営部会でまとめる採点結果を元に、授賞候補者を決定する。

なお、授賞候補者の決定にあたっては、受賞機会を多くの発表者に与えるという趣旨に鑑み、受賞が3回を超える者についてはその対象外とする。

5. 変更

この要項は、編集小委員会において変更することができ、変更後は速やかにトンネル工学委員会運営小委員会に報告する。

以上